



南牧中通信

☆教育目標☆ 共に学び、自ら考え、主体的に行動する生徒の育成

E-mail nan-jht1@nanmoku.ne.jp HP <http://www.jhs.nanmoku.ne.jp/>

〒370-2806

南牧村大日向1045

TEL:87-2501

FAX:87-2550

(文責：校長 赤石啓寿)

最低気温が氷点下になる寒い日が続き、いよいよ真冬の到来を感じさせる季節となりました。先週、保護者の皆様にはお忙しい中、三者面談のために中学校へお越しいただきありがとうございました。2学期の振り返りとともに冬休みに向けての有意義な話し合いができました。

今日で令和4年度2学期が終了です。コロナの第7波から第8波へと感染が広がっていく中ではありましたが、予定していた授業や行事をほぼ通常通り実施することができました。特に今学期は郡市中体連新人大会、職場体験学習、郡市駅伝大会、学習発表会、生徒総会、期末テスト、人権学習など、多くの行事が次々と続く中で、生徒は一つ一つの活動にしっかりと向き合い、誠実に取り組むことで、着実に成長を遂げています。

明日からは17日間、つまり半月以上の長い冬休みが始まります。学活の時間に立てた目標や計画に従って規則正しい生活を心掛けてほしいと思います。新しく来る2023年が、皆さんにとって素晴らしい年になることをお祈りしています。

人権旬間の学習より

本校では11月28日～12月16日を人権旬間として人権について集中的に学習しています。11月29日の人権朝礼では教頭先生から人権講話がありました。身の回りにある人権問題に目を向け、「気づき、考え、行動できるようにしよう」という目標が示されました。

12月7日には、小学校から専門の先生を招き、1, 2年生合同で道徳人権特別授業を行いました。「自分にとって大切なもの」は人や国によって異なり、その違いを理解したり尊重したりすることでどんな良いことに繋がるか、みんなで考えました。さらに12月12日には情報モラルに関する人権講話、また、生徒会が中心となってレッドリボン（エイズ差別の防止）、人権ソング、人権ツリーなどのイベントにより、人権尊重の意識を高めました。



特色ある英語教育の実践

12月2日、1年英語の授業を妙義中とリモートで繋ぎ、相手のALTに自分たちのALTを英語で紹介する活動を行いました。生徒たちは初対面の外国人に英語で伝えたあと内容に関する相手の質問に答えるという難しい活動を、緊張しながらもなんとか実践することができ、とても満足した様子でした。また12月19日には1, 2年生合同でクリスマス英語特別授業を行いました。



第4回ふるさと朝礼

12月13日のふるさと朝礼は「ちょっとしたカフェ」オーナーの加藤さんにお越しいただきました。東京の練馬でカフェを営みながら、ゴミ問題に取り組んでいた加藤さん。南牧の魅力に惹かれ、富岡市に移住して豊かな自然の中で子育てをしながら、カフェ以外にも様々な環境活動に取り組まれています。その熱い思いはしっかりと生徒たちにも伝わりました。終了後、生徒が育てている鶏の卵をプレゼントしました。



「考える」避難訓練

12月14日、避難訓練を行いました。職員室が火事で火と煙が上がっていて、シャッターが下り階段に行けない!? 点呼してみたら先生が一人いない!? 慌てて燃えている校舎へ救出に…!? 想定していない場面に直面したとき、いかに素早く的確な判断ができるか。振り返りでは、先生たちも交えて熱心な話し合いが行われました。



2学期の主な表彰

- 富岡市甘楽郡中学生英語弁論大会・Good Prize 市川優真（2年）
- 甘楽郡小・中学校理科自由研究コンクール・最優秀賞 市川優真（2年）
同 優秀賞 飯塚慎之介（1年）、同 佳作 田村浩康（2年）
- 富岡甘楽中学校新人陸上競技記録会 1年女子800M走・第1位 安田愛音（1年）
- 甘楽郡読書感想文コンクール・優秀賞 市川晶基（2年）
- 中学生の税に関する作文・富岡税務署長賞 市川優真（2年）
- 青少年健全育成「あいさつ」ポスター用図画コンクール・佳作 市川ひかり（2年）

◎今後の主な予定 2023年（令和5年）

- 1月10日（火）3学期始業式、書き初め、身体測定
- 12日（木）休み明けテスト
- 13日（金）第3回英語検定
- 16日（月）小中合同研修
- 17日（火）教育CIO訪問日
- 18日（水）新入生一日体験入学、情報モラル講座
- 24日（火）ふるさと朝礼
- 2月 2日（木）立志式（2年）、授業参観

**今年一年大変お世話になりました。
皆さん良いお年をお迎えください。**



（外部講師による書き初め指導）



（鶏小屋の防寒フィルム貼り）